

事業計画（道路）

（高速道路の復旧）

1. 東北自動車道 他 11 路線

- ① 箇所名：東北自動車道、仙台北部道路、三陸自動車道、仙台東部道路、東北中央自動車道、山形自動車道、磐越自動車道、北関東自動車道、東水戸道路、東関東自動車道、首都圏中央連絡自動車道、京葉道路の被災箇所
- ② 応急復旧により、平成 23 年 3 月 30 日までに一般車両の通行が可能となった。
- ③ 事業完了年度
平成 24 年度

2. 常磐自動車道

- ① 箇所名：常磐自動車道の供用中区間の被災箇所、及び、整備工事区間
- ② 供用中区間の被災箇所については、応急復旧により、平成 23 年 4 月 28 日までに旧警戒区域※にかかる区間（常磐道広野 IC～常磐富岡 IC）を除き一般車両の通行が可能となった。（旧警戒区域にかかる区間は、4 月 29 日までに緊急車両の通行が可能となった。）

※ 平成 24 年 4 月 1 日の区域見直し前の警戒区域

- ③ 供用中区間の被災箇所（常磐道広野 IC～常磐富岡 IC を除く）については、平成 24 年 12 月 22 日に本復旧を完了した。また、旧警戒区域にかかる常磐道広野 IC～常磐富岡 IC については、環境省が実施した除染工事と並行して復旧工事に着手し、平成 26 年 2 月 22 日に本復旧を完了した。
- ④ 整備工事区間について、相馬 IC～山元 IC 間及び旧警戒区域にかかる浪江 IC～南相馬 IC 間を平成 26 年 12 月 6 日に開通させた。更に、常磐富岡 IC～浪江 IC については、当初の目標を約 2 ヶ月前倒し、平成 27 年 3 月 1 日に開通させた。これにより常磐自動車道は全線開通した。
- ⑤ 事業完了年度

平成 27 年度

(直轄国道の復旧)

3. 一般国道 4 号 他 9 路線

- ① 箇所名：一般国道 4 号、13 号、47 号、48 号、49 号、50 号、51 号、108 号、283 号、357 号の被災箇所
- ② 応急復旧により、平成 23 年 3 月 23 日までに通行が可能となった。
- ③ 一般国道 13 号、47 号、48 号、50 号、51 号、283 号、357 号は、平成 24 年度内に本復旧が完了した。
- ④ 一般国道 4 号、49 号、108 号は、平成 25 年度に本復旧が完了した。
- ⑤ 事業完了年度
平成 25 年度

4. 一般国道 6 号

- ① 箇所名：一般国道 6 号の被災箇所
- ② 応急復旧により、平成 23 年 4 月 10 日までに旧警戒区域を除き通行が可能となった。旧警戒区域内は、平成 23 年 12 月 26 日までに 2 車線を確保した。
- ③ 平成 25 年 3 月 2 日に震災による規制箇所は全て解消した。
- ④ 事業完了年度
平成 25 年度

5. 一般国道 45 号

- ① 箇所名：一般国道 45 号、三陸縦貫道の被災箇所
- ② 応急復旧により、広域迂回路を含め平成 23 年 3 月 25 日までに通行が可能となり、

7月10日には広域迂回が解消。また、三陸縦貫道においては、平成23年3月30日までに通行が可能となった。

- ③ 平成24年9月28日に震災による規制箇所は全て解消した。
- ④ 橋梁等大規模な被災箇所は、地域の復興計画を踏まえて復旧予定
- ⑤ 45号の本復旧については、概ね平成28年度の事業完了を目指す。
- ⑥ 45号整備については、各地方公共団体が策定する復興まちづくり計画に合わせ、引き続き用地買収を進めるとともに、工事の全面展開を図り、本格的に整備を推進。

(復興道路・復興支援道路)

6. 復興道路（新規着手区間）

- ① 箇所（工区）名：三陸沿岸道路（歌津～本吉等 約148km）
- ② 平成23年度第三次補正予算において事業化し、順次、測量、設計説明会、用地幅杭の設置に着手。
- ③ 平成24年度は、順次、用地買収を進め、一部の区間で工事に着手。
- ④ 平成25年度は、用地買収を進め、順次工事へと移行。
- ⑤ 平成26年度は、橋梁等の主要な構造物に着手。
- ⑥ 平成27年度は、引き続き、用地買収を進めるとともに、橋梁等の主要な構造物について、本格的に整備を推進。
- ⑦ 平成28年度以降も、引き続き、用地買収を進めるとともに、橋梁等の主要な構造物について、本格的に整備を推進。
- ⑧ 全線において用地買収・工事を推進し、順次供用を図る。
(平成29年度供用予定：山田宮古道路(14.0km)、宮古田老道路(4.0km)、田老岩泉道路(6.0km))

(平成 30 年度供用予定 : 吉浜釜石道路 (14.0km) 、唐桑高田道路 (10.0km) 、
歌津本吉道路 (4.0km))

(平成 31 年度供用予定 : 気仙沼道路 (1.7km))

(平成 32 年度供用予定 : 宮古田老道路 (17.0km))

7. 復興道路 (事業中区間)

① 箇所 (工区) 名 : 三陸沿岸道路 (釜石山田道路、八戸南道路、仙塩道路 (4 車線化)
等約 134km)

② 全線において用地買収・工事を推進し、順次供用を図る。

(平成 24 年度供用 : 八戸南道路 (5.3km))

(平成 25 年度供用 : 高田道路 (4.1km)、尾肝要道路 (4.5km)、普代バイパス (4.2km)、
八戸南環状道路 (4.8km))

(平成 26 年度供用 : 矢本石巻道路 (4 車線化) (14.4km)、仙台松島道路 (4 車線化)
(6.8km))

(平成 27 年度供用 : 仙塩道路 (4 車線化) (7.8km)、吉浜道路 (3.6km))

(平成 28 年度供用予定 : 登米志津川道路 (11.1km)、南三陸道路 (3.0km)、矢本石巻道
路 (4 車線化) (12.1km))

(平成 29 年度供用予定 : 南三陸道路 (4.2km)、本吉気仙沼道路 (7.1km))

(平成 30 年度供用予定 : 久慈北道路 (7.4km)、釜石山田道路 (13.6km))

8. 復興支援道路 (新規着手区間)

① 箇所 (工区) 名 : 東北横断自動車道釜石秋田線 (釜石～釜石西等 約 17km)

東北中央自動車道 (相馬～相馬西等 約 23km)

宮古盛岡横断道路 (宮古～箱石等 約 48km)

宮城県北高速幹線道路 (Ⅱ期 (中田工区) 等 約 11km)

② 平成 23 年度第三次補正予算において事業化し、順次、測量、設計説明会、用地幅杭
の設置に着手。

③ 平成 24 年度は、順次、用地買収を進め、一部の区間で工事に着手。

④ 平成 25 年度は、用地買収を進め、順次工事へと移行。

- ⑤ 平成 26 年度は、橋梁等の主要な構造物に着手。
- ⑥ 平成 27 年度は、引き続き、用地買収を進めるとともに、橋梁等の主要な構造物について、本格的に整備を推進。
- ⑦ 平成 28 年度以降も、引き続き、用地買収を進めるとともに、橋梁等の主要な構造物について、本格的に整備を推進。
- ⑧ 全線において用地買収・工事を推進し、順次供用を図る。
 - (平成 29 年度供用予定：東北中央自動車道(阿武隈東～阿武隈) (5.0km) 宮城県北高速幹線道路(Ⅱ期(中田工区)) (4.7km))
 - (平成 30 年度供用予定：東北横断自動車道釜石秋田線(釜石道路 6.0km)、東北横断自動車道釜石秋田線(遠野道路 11.0km)、東北中央自動車道(相馬西道路 6.0km))
 - (平成 31 年度供用予定：宮古盛岡横断道路(宮古箱石道路 2.0km))
 - (平成 32 年度供用予定：宮古盛岡横断道路(宮古箱石道路 4.0km))

9. 復興支援道路(事業中区間)

- ① 箇所(工区)名：東北横断自動車道釜石秋田線(遠野～宮守 約 9km)
 東北中央自動車道(阿武隈東道路等 約 23km)
 宮古盛岡横断道路(都南川目道路等 約 10km)
- ② 全線において用地買収・工事を推進し、順次供用を図る。
 - (平成 24 年度供用：東北横断自動車道釜石秋田線(宮守～東和) (24.0km)、宮古盛岡横断道路(築川道路) (6.7km))
 - (平成 27 年度供用：東北横断自動車道釜石秋田線(遠野～宮守) 9.0km)、宮古盛岡横断道路(都南川目道路) (2.6km))
 - (平成 28 年度供用予定：東北中央自動車道(阿武隈東道路) (10.7km))
 - (平成 29 年度供用予定：東北中央自動車道(霊山道路) (12.0km))
 - (平成 31 年度供用予定：宮古盛岡横断道路(都南川目道路 3.4km))

10. ICアクセス道路

- ① 箇所（工区）名：一般県道宮古山田線（豊間根工区 約1km）
市道北部環状線（山口工区 約3km）
一般県道大島浪板線（浪板工区 約3km）
- ② 全線において用地買収・工事を推進し、順次供用を図る。
（平成28年度供用予定：市道北部環状線（山口工区）（2.5km））
（平成29年度供用予定：一般県道宮古山田線（豊間根工区）（1.3km））

